



FACULTY of 2025 KOBE LETTERS UNIVERSITY

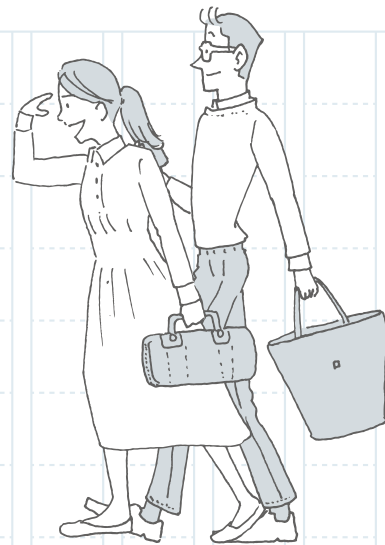
神戸大学 文学部

人文学を探求する



神戸大学 文学部を知る

学問の始まりには、かならず未知との出会いと好奇心があります。
大学は、その好奇心に基づき「知る」こと自体を大切にする場であり、
考えることの歓びを伝える場です。人類が創ってきた文化の意味を、
その根本に立ち返りながら追求してゆく学問が「人文学」です。



世界にひらかれた海港都市・神戸は、多様な文化がとけあい、独特の異国情緒を宿しています。歴史と新しさが同居するこの街は、好奇心を刺激してくれるはずです。



異国情緒豊かな街・
神戸で学ぶ

じっくり学べる 少人数教育

1学年学生100人、教員50数人。
未知との出会いと好奇心は、いつも偶然的、
個別的にうみだされるもの。
徹底した少人数教育と、教員の研究の質の高さにより、
個々人の驚きと好奇心を掻き立て、「人文学」の粋を伝授します。

→詳しくは各専修紹介へ(4ページ～)



織田信長・豊臣秀吉ら、いわゆる「天下人」の書状・印判状など戦国時代から江戸時代前期の重要な出来事にかかわる文書を数多く含む「中川家文書」や、昭和を代表する俳人山口誓子の旧蔵書をはじめ、貴重な歴史的資料が数多く所蔵されています。
唯一無二のコレクションを活用し、学問の扉をひらきましょう。

貴重なコレクションで
最新の学びを

国際交流

多彩な外国語・外国文学教育を実施するとともに、
オックスフォード大学をはじめ、アジア・欧米諸国の
大学・研究機関と活発に交流し、様々な留学の機会、
留学生との交流の機会を提供しています。

→詳しくはKOJSP紹介へ(20ページ)



各業界での活躍

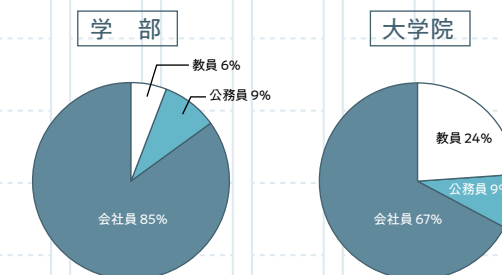
公務員、民間企業への就職、
大学院への進学など、
優れた進路実績があります。

→詳しくは就職についてへ(23ページ)

●令和5年度(2023年度)卒業生・修了者の進路データ

学部	大学院
卒業生数	104
進学者数(大学院)	13
就職者数	82
(2024年3月時点)	
【博士課程前期課程】	【博士課程後期課程】
修了者数	51
進学者数	14
就職者数	21
(2024年3月時点)	

●就職先の割合



●主な就職先の名称

学部	神戸市立中学・高等学校教員、防衛省、神戸地方検察庁、神戸市役所、三井住友銀行、三井住友信託銀行、第一生命保険、三菱地所レジデンス、日本空港ビルディング、パソルテンプスタッフ、パナソニックネットソリューションズ、大丸松坂屋百貨店、近鉄グループホールディングス、中央公論新社、ブルボン、日立製作所、神戸製鋼所、新明和工業
大学院前期課程	兵庫県内中学校教員、兵庫県立中学校教員、和歌山県立高等学校教員、山口県立中学校教員、河合塾マナビス、日能研関西、神戸市役所、ノジマ、スタンレー電気、ビーコンコミュニケーションズ、情報セキュリティ、アクセシチュア、三井金属商事、メディアハウスホールディングス、出版文化社、自衛官、ジェシービー、オーシャンロジスティックサービス
大学院後期課程	島根県公務員



contents

文学部を知る	1
文学部及び人文学研究科の沿革	2
文学部長からのメッセージ	3
文学部の構成	4
専修の決定	
専修紹介	
哲学	
●哲学専修	5
文学	
●国文学専修	6
●中国文学専修	7
●英米文学専修	8
●ドイツ文学専修	9
●フランス文学専修	10
史学	
●日本史学専修	11
●東洋史学専修	12
●西洋史学専修	13
知識システム	
●心理学専修	14
●言語学専修	15
●芸術学専修	16
社会文化	
●社会学専修	17
●美術史学専修	18
●地理学専修	19
神戸オックスフォード日本学プログラム	20
国際交流・留学について	21
大学院への進学	22
就職について	23
文学部の図書館(人文科学図書館)	24
大学生活をめぐる Q&A	25

文学部及び人文学研究科の沿革

1949年	5月	31日	国立学校設置法（法律第150号）によって、神戸大学が設置され、文理学部（文科・理科）が置かれる。文科には哲学科・史学科・文学科の3学科が置かれる。
	7月	11日	文理学部文科の第1回入学式。
1953年	3月	25日	同、第1回学士試験合格証書授与式（卒業式）。
	4月	1日	文理学部文科に専攻生制度（後の大学院修士課程）が設置される。
1954年	3月	31日	国立学校設置法の改正により、文理学部が廃止され、文学部・理学部がそれぞれ独立する。
1958年	4月	1日	専攻生制度が廃止され、文学部に文学専攻科が設置される。
1968年	4月	1日	文学専攻科が廃止され、文学部に大学院文学研究科（修士課程）が設置される。
1979年	4月	1日	文学研究科に文化構造専攻（博士課程）が設置される。
1980年	4月	1日	上記文化構造専攻と社会文化 専攻からなる大学院文化学研究科（博士課程）が設置される。
2001年	4月	1日	3学科制が人文学科1学科制に改組される。
2007年	4月	1日	文学研究科・文化学研究科が改組され、人文学研究科（博士課程前期課程・後期課程）が設置される。
2010年	9月	25日	文学研究科が廃止される。
2015年	3月	31日	文化学研究科が廃止される。



文学部長からのメッセージ

神戸大学文学部の前身である文理学部は、今から三四半世紀前の第二次世界大戦後まもなく、1949年に設置されました。その第一回入学案内は、「応用的学問、職業的学問をもっぱら重視し、基礎的な学問の探求、それを通じて養われる科学的精神の育成という面を軽視してきた弊」が「敗戦後の今日においても依然として根強く学界、教育界を支配している」とし、「科学的精神を身につけた健全な市民を育成することが最も急務である」と述べ、文学部の営みの重要性を主張しています。

神戸大学文学部は、哲学、国文学、中国文学、英米文学、ドイツ文学、フランス文学、日本史学、東洋史学、西洋史学、心理学、言語学、芸術学、社会学、美術史学、地理学という、広い学問領域をカバーする15の専修から構成されています。そして、人間とは何か、人間はどのような歴史や文化を生み出してきたのか、といった、人間についての根源的な問いに関わる「古典」への視点と、グローバル化や、AIをはじめとする新たな科学技術の進展等がもたらす様々な現代的課題とを結びつけながら、教育研究を日々行っています。

文学部はまた、大学間協定、部局間協定に基づく諸大学との間をはじめ、国際的な学術交流も積極的に進めており、毎年多くの交換留学生を送り出し、受け入れています。2012年10月に始まった「神戸オックスフォード日本学プログラム」では、オックスフォード大学東洋学部日本学専攻の2年次生全員（約12名）が毎年1年間文学部で日本語・日本文化を学んでおり、文学部生との日常的な交流も行われています。

文学部は、人類の叡智の蓄積としての古典と現代的問題を結びつけて考えながら、広く人間について考えるという人文学的営為の場であり、人間がつくり上げてきた文化に対する好奇心を高め、多様な角度から人間存在の深みに光をあてる教育研究を行っています。「言葉や文化、人間の行動、歴史や社会に対する幅広い関心と好奇心を持ち、既成の価値観にとらわれることなく、自分で問題を発見し、探求していく」（「文学部アドミッションポリシー」より）皆さんと、ともに学ぶことを心から楽しみにしています。

文学部長 白鳥 義彦
(Shiratori Yoshihiko)

文学部の構成

文学部は5つの講座と15の専修によって構成されています。

人文学の古典的領域を中心に哲学、文学、史学、人文学の現代的テーマを中心に知識システム、社会文化があります。

哲 学

哲学専修

哲学は、世界や人間のあり方を根本から問う学問です。存在・心・善といった基礎的問題の探究が古代から今日まで綿々と続けられてきた一方、安楽死や生殖補助医療といった現代医療の諸問題や、持続可能な社会にふさわしい価値観の構想といったアクチュアルな問題も課題としています。

文 学

国文学専修

中国文学専修

英米文学専修

ドイツ文学専修

フランス文学専修

文学講座では、日本、中国、英米、ドイツ、フランスの各言語による文学作品を読み解いていきます。まずそれぞれの言語、豊かな「ことば」たちに出会いましょう。さらにテキストの精読を通じて各文化、各時代における人間の営みの雑多な諸相に目を凝らし、交感を試みてみましょう。

史 学

日本史学専修

東洋史学専修

西洋史学専修

史学では、古代から現代にいたる人間社会の歴史を、日本、東洋（アジア、アフリカ）、西洋（ヨーロッパ、アメリカ）の三つに区分して探求します。国家、宗派、党派、階級、都市、村落、家族、個人など社会の様々な単位の展開や相互関係を、史料に即して実証的に解明します。

知識システム

心理学専修

言語学専修

芸術学専修

知識システムでは、人間が行う認識、思考、感情、創造のあり方を探求します。三つの専修から成り、心理学は実験により認識と行動を解明し、言語学は諸言語の比較により認識と思考を解明し、芸術学は作品やメディアの分析により感情と創造性を解明します。

社会文化

社会学専修

美術史学専修

地理学専修

社会文化には、社会学、美術史学、地理学の専修があります。人間はそれぞれの地域社会において生活しながらさまざまな文化的形象を生み出しています。それらを、社会学はコミュニケーションや社会問題現象を通じて、地理学では地域空間に写像された人間活動を通じて、また美術史学では日本、アジア、西洋における造形文化の意味と受容のあり方を通じて解明していきます。

文学部人文学科

専修の決定

文学部に入学した学生は1年生の後期に進むべき専修を決定し、2年生からそれぞれの専修に所属することになります。基本的に本人の希望により専修を選択できます。ただし各専修には定員があるため、志望者が定員を超えた場合は、成績や試験、面接などによる選考が行われます。

文学部では、事前に専修ガイダンスを開催したり、「講座入門」、「人文学導入演習」、「人文学基礎」など専修決定の参考になる授業を開講しています。興味のある専修の教員に直接話を聞きに行くなど、後悔しないよう慎重に検討して志望専修を決定して下さい。

文学部で取得できる資格

- 教員免許状
 - ・中学校教諭一種（国語、社会、英語）
 - ・高等学校教諭一種（国語、地理歴史、公民、英語）
- その他の資格
 - ・学芸員、社会調査士

哲学専修

哲人たちの「なぜ?」という問いの冒険にあなたも参与しよう。そうすれば私たちの現在もみえてくる。

紀元前5世紀のアテネで「真に知恵ある」人物を求め、政治家、芸術家、職人を訪ね歩き、若者たちと「善とは何か」「知識とは何か」と対話を繰り返したソクラテス。17世紀のフランスで知識の揺るぎない土台をうちたてるために、「すべてを根こそぎくつがえし、最初の土台から新たに始めなくてはならない」と、孤独のうちに決断し、思索を透徹させたデカルト。ソクラテスのように、デカルトのように、あるいはハイデガーやウィットゲンシュタインのように、そのスタイルは違っても、哲学とは根本から問い、根本から思索すること尽きるものです。

今やわたしたちの生活世界に深く浸透する科学技術、グローバル化した社会経済そして互いに自己主張をやめることのない多様な文化と価値。そのただ中で対話し思索を透徹させることを通して、この時代を少しでもよりよく生きるための知恵そしてこの時代にふさわしい知識へとわたしたちを導く営みこそが今日、哲学と呼ばれるにふさわしいものなのです。

授業では

様々な分野を専門とするスタッフが体系的で段階的な哲学と倫理学の教育を行っています。講義では哲学・倫理学の古代から現代に及ぶ問題や概念、方法論を学び、演習では原典を読解する能力を養います。また、オフィスアワーを利用し、各学生の関心に合わせ、卒業論文の指導を行うと同時に、学生が研究成果を発表し、互いに議論しあう、哲学専修のスタッフ全員参加の合同演習も実施しています。こうした多様な演習と論文指導を通して、一人一人の学生が哲学的に考える力を身に付けることができるよう指導していきます。



最近の卒業論文から

「アリストテレス『ニコマコス倫理学』における自己愛」「持続可能な社会の実現へ向けて」「人種の表象表現に関わる諸問題の考察」「競走馬に対する動物倫理の検討」「フーコーの権力論から見た学校についての考察」

卒業後は

卒業後、社会人の道を選択することも、博士課程前期課程で2年間研究を続けることもできます。研究者を志す人は、博士課程後期課程に進学して3年間研究することができます。就職状況は順調で、民間企業に就職した人もいれば、公務員、教職についてる人もいます。おおむね2割程度が大学院に進学し、8割程度が市役所、観光業、商社、金融機関、民間教育機関、IT企業、図書館など、多方面に就職し、活躍しています。

Message

教員からのメッセージ

「美しく問う」――それが哲学の醍醐味の一つです。すなわち、与えられた問いの答えを探るだけでなく、問いそのものを自ら発見しつつ探究を進めるということです。そしてここで言う「問い」（美しい問い）とは、「解くことは容易ではないが、解かないことには自分自身が胸苦しさを感じずにいられないような」問い（＝アポリア）のことです。

そのような問いは、一般的な問いであれ具体的な問いであれ、この世界に様々な仕方でも潜んでいます。

（茶谷直人）



卒業生からのメッセージ

対話を通して知を深めることは古代ギリシアの哲学者ソクラテスが行った哲学的探究の試みですが、哲学専修にも教員や学生同士で対話を行う講義やその機会が多くありました。知識分野や価値観の異なる人と、純粋に知的な問いにフラットな立場で対話することは哲学という枠組みで集まった場でしか経験できないもので、たいへん楽しく、かつ貴重な時間だったと振り返って私は思います。人と対話し、書物と向き合いながら、必ずしも答えがでるわけではない問いに向き合い続けるという哲学の経験は、卒業後どんな進路を選んでもせよ自身の大きな力になるのではないのでしょうか。

（下中怜史 2016年3月卒業 宝塚市職員）



国文学専修

千三百年に亙る日本語の沃土千里を拓き、日本文学の豊饒の海万里を航く。

国文学専修は、国文学、国語学の両分野からなり、古代から近現代にいたる各時代の日本語・日本文学についての研究を行うところです。人は言葉によって思考し、あらゆる思想や、人生観や、喜怒哀楽などを文学に投影してきました。日本語・日本文学の歴史と現在を学ぶことは、日本人の精神がこれまで辿ってきた道と現在のあり方、そしてこれから進むべき行く先を追究することに他なりません。そのことを通して、自分の立つ位置について確かな目を持つことは、私たちに、揺るがぬ自信と判断力を与えてくれます。

また、日本語・日本文学の研究は今や日本だけのものではありません。国文学専修は、世界各地から多くの留学生を受け入れています。国文学専修で学ぶことは、それぞれ異なる文化的背景を持ちながら、日本人の思想や文学に強い関心を持つ留学生と交流する日々でもあります。彼らは、私たち日本人が実はいかに日本を知らないか、ということに気づかせてくれるとともに、異なる立場から日本文化を見つめる視点も教えてくれます。国文学専修は、世界に開かれた目を持ち、世界に向けて日本文化を発信できる国際人を育てる場でもあるのです。

授業では

国文学専修には国文学4名、国語学2名、計6名の教員おり、各教員とも特殊講義と演習の2種類の授業を担当しています。特殊講義では、各分野での最先端のトピックや各教員の研究内容などについて、時に学生との議論も交えながら講じます。演習は、ある作品や研究論文について学生が研究報告をし、その後、教員の助言のもと、学生同士で討論するという形が一般的です。それを通じて、互いに調査や論理構築などの研究能力を研鑽します。例えば、2023年度前期の演習課題は、「古典文学とジェンダー」「江戸読本を読む（曲亭馬琴『頼豪阿闍梨怪鼠伝』）」「太宰治を読む」「『類出古文単語』の国語学的分析」です。

最近の卒業論文から

「女武者・巴考」「異性装が描き出したもの」「『頼豪阿闍梨怪鼠伝』における怪異―頼豪の怨霊と行氏の幽魂に注目して―」「室生犀星『弄獅子』論：原点の探求としての〈自伝もの〉」「『さかな』の語史」

卒業後は

卒業後は、試験を経て大学院人文学研究科博士課程前期課程に進み、より高度な研究を続ける学生と、就職する学生とに分かれます。就職先の業種は、中高の国語科教員、各種公務員、マスコミ（出版社・新聞社等）、金融機関、シンクタンク、運輸、その他さまざまです。大学院に進学した学生は、博士課程前期課程修了後、中高国語科教員、公務員、企業等に就職するほか、一部はさらに博士課程後期課程に進み、研究者、大学教員等になります。

教員の紹介

田中 智子 講師

日本中古文。古今和歌六帖や初期定数歌を中心に、その和歌史上の位置づけについて研究しています。

樋口 大祐 教授

日本古典文学（中世を中心とする）。物語や説話、歴史文学におけるジェンダーの在り方や視点の多様性について研究しています。

有澤 知世 講師

日本近世文学。山東京伝の諸活動を中心に、近世後期の考証と戯作作品を主な研究対象としています。

梶尾 文武 准教授

日本近代文学。昭和期における文学と思想の複合的展開を研究の対象としています。

石山 裕慈 准教授

日本語史。日本語の音の歴史を研究しており、その中でも特に日本漢字音史（つまり漢字の「音読み」の歴史）に関心を抱いています。

池田 来末 講師

日本語文法。複合動詞という複数の動詞が結びついた形式の用法変化や使い分けについて主に研究しています。



中国文学専修

悠久の歴史、広大な国土を誇る中国。中国の豊かな文学に出会ってみませんか。

文字通り、中国の文学を対象とした学問です。3000年余りに及ぶ歴史とヨーロッパ全体に匹敵する国土、そして12億の人口を擁する中国。この壮大なスケールを誇る中国の文化に取り組むためには、まずは中国語を読む訓練が必要です。いわゆる読み下しには頼らず、漢字一つ一つの音（ピンイン）を調べて、中国語で発音してみるところから演習の準備は始まります。さまざまな辞書や参考書にあたりながら意味を解釈していく作業は地味ではありますが、漢字の羅列でしかなかったものから立体的な文学イメージを構築できたときの達成感には十分その苦勞に報いるものです。神戸大学の中国文学専修では、中国の大学から招いた特任教員による講義が開かれており、学生は現地で第一線に立つ研究者から直接授業を受けることができます。また、古典文学と現代文学の講義をバランスよく配して、学生が自分の興味に従って選んだ研究をサポートする体制をとっています。更に自分の研究テーマだけに閉じこもることなく、さまざまな時代、さまざまなジャンルの生きた中国文化に出会うために、「文学」に限らず、「中国語学」、「中国思想」に関する授業も提供されています。

授業では

授業は大きく講義と演習の2種類に分けられます。2022年度前期、講義では「中国近代文学のシスターフッド」「古典音楽でめぐる漢文学の旅」「日本中国学概論」が開講されました。教員が自らの知見を講じる講義に対して、演習とは文献を読むための技術訓練の場であり、学生が主役となって活発な議論をすすめることが求められます。2022年度前期は「張天翼」「李群玉詩集」「現代中国語作文」を選読しました。このほか、学生による論文構想発表があり、執筆中の論文について教員や同級生と活発な討論を展開しています。

教員の紹介

濱田 麻矢 教授

近現代中国文学。女性文学全般に興味を持っていますが、特に1940年代、日中戦争から国共内戦期にかけての小説の諸相に関心を持っています。

劉 萍 特任准教授

専門は、中国古典文献学と近代日本の中国学です。日中比較文化の視座において、中国古代の書籍の伝播と、日本の中国学者による中国古典学の研究を材料とし、学術史を整理しています。

早川 太基 講師

中国古典文学。人は詩歌によって何を表現するのかを探索しつつ、唐宋明清文学・音楽を研究中。作詩や七弦琴・尺八などは、研究と趣味をかねて嗜みます。

最近の卒業論文から

「蘇軾の詩文について」「中国20世紀以降の文学のジェンダー観」「西王母の形象について」

卒業後は

商社や新聞社などの民間企業に就職して語学力を発揮している人もあれば、コンピュータ関連会社でソフト開発に取り組む人もいます。国語の免許を取得して高校の教師になる卒業生もいましたが、教職の関口が狭くなった今では、公務員試験に挑戦する人が増えています。また、博士課程前期課程に進んでさらに研究を続ける人もたくさんいます。修士号取得後は教育職に挑戦する人、博士課程後期課程に進んで留学を目指す人など、さまざまです。

教員からのメッセージ

古い中国と、新しい中国をどちらも学ぶことができる研究室です。李白や杜甫、そして魯迅や張愛玲の作品を、もっともっと深く味わってみませんか？いずれにせよ、朝から晩まで漢字の海のなかに溺れながら格闘することになるので、覚悟していてください。中国語を極めるのもいいですし、漢文・漢詩の創作もお手伝いしますし、中国の古典楽器「琴」などもお教えできますので、特殊技能が身につきますよ。



（早川太基）

卒業生からのメッセージ

中国文学と聞くと、やはり「中国四千年の歴史」というだけ歴史も深く、漠然と難しそう・・・と思われる方が多いかもしれません。私もそう思っていた一人です。しかしながら、講義や演習を通して、古典文学から現代文学まで様々な作品に触れ、学び、議論を交わすことは、中国という国、はたまたその周縁に存在する日本という国を知るきっかけにはずです。私自身、中国文学に触れた経験は、たくさんの新しい気づきを与えてくれました。

試験でよい点を取るために勉強したあの漢文も、皆さんのまだ知らない何かがあるかもしれません。ぜひ中国文学の世界に触れてみてください。

（馬場萌波 2022年3月卒業 神戸市外郭団体職員）

Message

教員からのメッセージ

どんな学問でもそうですが、国語学や国文学の研究には、周囲の動向に動かされず、自分で考え、かつ感じるということが何よりも必要です。よい研究の多くは（一見無関係に見えるとしても）研究者個人の現実生活の中で芽生えた、実存的な要求に基づいているものです。その意味で、「今」をよく考え、よく生きたいと思っている全ての人々を、当専修は歓迎します。

（樋口大祐）



卒業生からのメッセージ

当専修では、古代から近現代までの文学作品や、日本語の歴史や文法を学ぶことができます。自らが関心を持ったことについて問いを立てて研究し、先生方や先輩、学生同士での議論を通じて読みを深めていきます。

私は作品の言葉一つ一つをじっくりと味わい、さまざまな資料と照らし合わせて考えた経験が、現在も生きていると感じます。膨大な情報であふれる時代だからこそ、立ち止まって吟味する視点の重要度はますます高まっています。国文学や国語を学ぶことで現代に通じる歴史や思想の原点を覗き、思う存分考えを深めてみてください。

（赤羽佳奈子 2018年3月卒業 信濃毎日新聞記者）

英米文学専修

高度な英語力習得の先に広がる豊かで芳醇な英米文学の世界。

英米文学専修では、イギリスとアメリカを中心とした英語圏の文学の多様なジャンル—小説、演劇、詩などの純文学からファンタジー、SF、ミステリー—などまで一を、各教員がそれぞれの研究スタンスや関心に基づき広く取り扱っています。精緻な文学テキスト読解に基づき、比較文学的研究、翻訳研究、文学の舞台化・映像化などのアダプテーション研究、人種・エスニシティ・ジェンダー論的研究などを取り入れることで、英米文学（研究）の世界は無限に広がります。

シェイクスピア、ヴァージニア・ウルフ、サリンジャー、ヘミングウェイなどのイギリスやアメリカの特定の作家をより深く研究したい人はもちろん、英語圏の文化・芸術（音楽、映画、パフォーマンスなど）を究めたい人、将来のために英語力を高めたい人など、皆さんの多様な興味とニーズに応えます。

授業では

講義は幅広いテーマについて行われ、教員からの一方通行の授業になることは少なく、つねに受講生の関心と反応を見ながら進められます。演習は、受講生が英米文学のテキストを精読する方法を学ぶとともに、英語または日本語でディスカッションやプレゼンテーションをしたり、レポートや論文を書いたりして、お互いに切磋琢磨していきます。文学の背景となっている社会・歴史・文化・思想などの様々な知識を学ぶことで、文学テキストの読みは格段に深まります。また、戯曲の一場面を実際に演じてみたり、小説の一節をOEDなどの本格的な辞書を駆使して日本語に翻訳してみたりすることで、文学を学ぶ楽しさが広がるのです。



最近の卒業論文から

「カズオ・イシグロ研究」「シェイクスピアの道化について」「ボブ・ディラン研究」「ヴァージニア・ウルフ研究」「ポール・オースター研究」「サリンジャー研究」「『不思議の国のアリス』研究」「エミリー・ブロンテ研究」「ミュージカル研究」など

卒業後は

英語力を生かして商社や証券会社・銀行から製造業までの一般企業、公務員、中高の英語教員など、幅広く就職しています。また、大学院に進学し研究を深めて、高度専門職業人や大学教員・研究者を目指す人もいます。

教員の紹介

山本 秀行 教授

現代米文学。主にアメリカ演劇、小説を研究しています。

芦津 かおり 教授

イギリス演劇。特にシェイクスピアを中心に研究しています。

奥村 沙矢香 准教授

英文学。主に20世紀のイギリス小説を研究しています。

平川 和 助教

アメリカ文学。主に21世紀のアメリカ小説を研究しています。

ドイツ文学専修

ドイツ語文化圏を知ることは、ヨーロッパを理解する鍵。

ドイツ文学専修では、ドイツ語で書かれた文学を研究対象としています。ドイツ語はヨーロッパの中心に位置する4つの国、ドイツ、スイス、オーストリア、リヒテンシュタインの公用語です。また、北イタリアやフランスのアルザス地方、ルーマニアのトランシルヴァニア地方などにもドイツ語を話す人々が住んでいます。これらのドイツ語圏の国々や地域は、歴史的・文化的にオランダやチェコ、ポーランドなどの近隣諸国と深いつながりをもっています。これだけの広がりをもつドイツ文学／ドイツ語文学は、さらにまた、哲学や音楽といった他の学問領域とも密接な関係にあります。つまり、ドイツ文学専修で学べることは、みなさんが想像する以上に広範なものなのです。

授業では中世から21世紀までの文学を幅広く取り上げます。まず文学的なテキストとの付き合い方を学ぶことから始め、ドイツ語で書かれたさまざまなテキストを緻密に読み解く作業を通して、作品の構造やテーマ、思想といったものを考察していきます。そこにはこれまでまったく知らなかった世界が広がっているはずです。

文学研究が扱うのは人間そのもの。文学を学ぶことは、私たちの生きる世界を確実に広げ、豊かにしてくれます。

授業では

ドイツ語は4年間かけてしっかり学習します。文学作品を読みこなすだけの読解力を習得するための授業のみならず、コミュニケーション能力を重視した授業もネイティブの教師によって提供されています。それと並行して、ドイツ文学史やドイツ文学特殊講義といった授業を通して専門的な知識を身につけ、演習でレポートや論文の書き方を学んでいきます。卒業論文を仕上げるのが最終目標ですが、それが無理なく完成できるような仕組みになっています。ドイツ文学専修は小さな専修ですが、大学生活の中では、この小ささが大きなメリットになります。毎日の授業は少人数で行われるので、教員の指導が行き届き、学生同士も親しい人間関係を作りやすくなっています。



教員の紹介

増本 浩子 教授

ドイツ現代文学。特に20世紀のスイス・ドイツ語文学。ブレヒト以降の演劇論や、スイスにおける多言語多文化主義といったテーマにも取り組んでいます。

久山 雄甫 准教授

ドイツ思想史、労働気学。ゲーテの作品を中心にとりあげつつ、ドイツ語のガイスト概念の変遷史を研究しています。またゲーテ研究を手がかりにして、労働気学という新学問領域の立ち上げにも挑戦しています。

最近の卒業論文から

「シラー『ヴァレンシュタイン』で描かれる運命と自由」「カフカ作品におけるドアのモチーフについて」「ゲーテの『若きヴェルター』における官職」「フランツ・カフカ『流刑地にて』について——存在における罪と裁判行為の正当性」「フケー『水の精』における「水」と「魂」の連関性——騎士フルトブラントの「帰郷」「E.T.A.ホフマン『ブランピラ王女』における〈笑い〉が掻き立てる現実」

卒業後は

就職先はさまざまですが、中学校や高等学校の英語教員になる卒業生、あるいは一般企業でも新聞社や航空会社のように、語学力を生かせる職場を選ぶ卒業生が多いです。ここ数年は公務員を志望する学生が増えています。毎年何名かは大学院に進学して、より専門的な研究を続ける卒業生も少なくありません。

教員からのメッセージ

ゲーテやカフカといった名前に代表されるように、ドイツ文学は近現代の人文知において重要な一角を担ってきました。哲学や宗教、造形芸術や音楽などの様々なつながりも見逃せませんし、身近なところではグリム兄弟やエンデなどから興味を持つ人も多くいるでしょう。本専修では広く深く、ドイツ語圏の文学・文化・思想を研究することができます。みなさんも独文の大海原に漕ぎ出してみませんか。思いもかけない新しい世界が、時間的にも空間的にも広がっています。



（久山雄甫）

卒業生からのメッセージ

ドイツ文学専修では、文学作品を通じて、歴史や思想や音楽など、あらゆる興味を探究することができます。ゼミでは、先生方から幅広い知識を吸収し、仲間たちと切磋琢磨しながらかけがえない時間を過ごすことができました。卒業論文執筆にあたり、最終的には1つの作品・作家と向き合うことになりました。いつしか、その作品が自分を支える1冊となり、生きた国も時代も違う作家を友達のように感じる日がやってくることでしょ。私は卒業後文学とは縁のない世界に飛び込みましたが、興味にとことん向き合い、運命の1冊に巡り会えた4年間は、確実に私の糧となっています。是非、ドイツ文学専修で、自分の「好き」を探究してみてください。

（永尾美沙子 2022年3月卒業 第一生命保険株式会社勤務）

教員からのメッセージ

私は二十歳の夏に出会ったヴァージニア・ウルフの『波』に「乗り」、ここまで漂ってきました。一冊の本に魂を揺さぶられる思いをするとき、異国の言葉の高波は必ずしも脅威とはなりません。むしろ波に魅せられたサーファーになったような心地さえるものです。シェイクスピアにヘミングウェイ、ディケンズにT.S.エリオット…知っているようで知らない英語の文学の世界、身近な未知の場所に、あなたも出かけてみませんか。

（奥村沙矢香）



卒業生からのメッセージ

英語圏の社会と文学の影響関係を知り、個々の文にこめられた意義を読み解き、英語を持つ言語としての美しさに触れる。英米文学専修での学びは、いま私が教える英語を確かに支えてくれていると感じます。英語は情報伝達の道具だと言われて久しいですが、「物語る」ための英語の世界は、道具にとどまらない豊かさをたたえています。このページに名前のある作家を知らなくても大丈夫、飛び込んでみればきっと実感してもらえらと思います。

（鈴木大策 2020年3月卒業 私立淳心学院中学校・高等学校教員）



フランス文学専修

フランス語を通して、新しい自分を発見する愉しみ。フランス語を使って、自由に精神を展開する喜び。

フランス文学などというと、どことなく遠い存在のように感じられる諸君がいるかもしれませんが、そんな諸君でも、バルザックやスタンダールやゾラ、それからラシーヌやコルネイユ、そしてボードレールやランボーといった名前なら、どこかで聞いたことがあるのではないのでしょうか。これらの作家たちは、長い間にわたって、わたしたちの精神の形成に大いに役立ってきましたし、今後もわたしたちを導き続けるだろうと思います。その理由は、フランス文学が、その流派や思潮の違いを超えて、どんなときでも「人間」とは何か、「言語」とは何かと真剣に考えてきたからではないのでしょうか。神戸大学のフランス文学専修では、特に近現代文学を中心とした講義やゼミの中で、多様な角度から作品にアプローチしようと試みています。こうした試みから、ある作品がこれまでとは違う相貌のもとに現われてくるかもしれませんし、新たな読みの可能性が開けてくるかもしれないからです。フランス文学の面白さは、こうした発見の場に自ら参加し、立ち会えるということにあるといってもいいでしょう。

授業では

授業は大きく二つに分けられます。特殊講義ではフランス文学史や現代批評などを学び、ゼミ形式の演習の方は、いわばそうした知識を基にした実践編で、具体的な作品を扱い、受講生の発表と討論で構成していきます。フランス人教師による会話や作文の授業もあります。特筆すべきは、どの授業も少人数教育で、教師が学生一人ひとりをよく観察し、理解度を確認しながら授業を展開するよう心がけている点です。さらに、学生同士、そして教師と学生諸君との間につねに自由な雰囲気の中で建設的な対話が交わされることも私たちの誇りとする点で、そうした対話を通して、自らの精神を見つめ直し、発展させていくきっかけがつかめるものと確信しています。



教員の紹介

中畑 寛之 教授

フランス近現代文学。特に、ステファヌ・マラルメを専門とする。エクリチュールと社会・政治・歴史との関わりを研究しています。

廣田 郷土 講師

20世紀フランス語圏文学。カリブ海地域、アフリカ大陸、現代フランスなど、諸地域のフランス語文学における詩学と政治の関係について研究しています。

最近の卒業論文から

「カミュ『ペスト』研究－語りの構造と登場人物の内面性の関係」、「『死刑囚最後の日』における夢とユゴーの死刑廃止論」、「ローラン・ビネ研究－小説で歴史を理解する－チャコレジスタンスとビネそれぞれの抵抗」、「オノレ・ド・バルザック研究－自伝的作品における一人称 < je > の使用について」

卒業後は

卒業後の進路はさまざまで、どの分野のどういった職種が多いといったことはありません。けれども、ここ数年、公務員志望の学生諸君が増えてきたように思います。在学中に留学し、フランスで得た経験が将来を考えるうえで多いに役立った学生もいるようです。最近では、語学力を生かして高校の先生とか新聞記者、さらには語学学校のスタッフになるケースがありました。また、大学院志望の学生も少なくありません。

Message

教員からのメッセージ

フランス語？ フランス文学？ 皆さんは今まで考えたこともなかったひとつの道を前にしています。その道がいったいどこに繋がっていくのかはまだ分かりません。ただ、新しい言語を学ぶことはこれまでとは違った思考方法やものの見方を身につけることに他なりません。ですから、人間をさまざまに描き出すフランス文学に親しむことは皆さんを未知の世界へと誘うだけでなく、思いがけない自己を発見する契機になるだろうとは確言できます。まず第一歩を。

(中畑寛之)



卒業生からのメッセージ

「なぜフランス文学を選んだんですか？」よく聞かれるのですが、自分でも不思議です。特別フランスという国やその言語に惹かれていたわけでもない、ましてやフランス文学なんて読んだこともなかった私が、気づけばバリ留学までしてパリの「仏文生」になって卒業したのですから。きっかけは色々ありますが、なんと言っても先生方、そして講義が面白かったことが決め手でした。しかも仏文は少人数制ですから、その魅力的な専門家たちに、たくさんいる生徒の一人ではなく個々として向き合って教えてもらえる贅沢っぷり。気づけばフランス文学の魅力にどっぷりはまっていた。是非軽い気持ちで授業に出てみてください、私の言葉の意味がわかるはずです。

(河内麻実 2016年3月卒業 東京テアトル株式会社勤務)



日本史学専修

過去との対話を通じて浮かびあがってくる私たちが生きる現在。

日本史学は、現在「日本」と呼ばれている列島およびその周辺地域の歴史を研究することを目的とします。もちろん、より広く国際社会の中での「日本」の位置を歴史的に考えることも、研究の対象になります。歴史の研究といえは、過去の世界にひたすら埋没するように思われがちです。しかし、歴史を研究することは、何よりも私たちが生きる現代社会をより深く理解することです。なぜならば、私たちが歴史に対して抱く興味や疑問は、今生きている私たちが抱えている問題と直結しているからです。また、過去の出来事を様々なデータ（文献史料、発掘成果、地理的条件、自然的条件等々）を駆使して復元し、その意味を時間軸に位置づけて問うことは、現在おこりつつある事象を理性的に理解することに直接役立ちます。歴史という「根っこ」を持たないものを想像することができますか？ 何を知るにも、その第一歩は歴史から始まるといってもいいでしょう。江戸時代のある哲人は「学問は歴史に極まり候ことに候」と言い切りました。現代的な意味においてもこの発言は的を射ています。卒業論文を完成したとき、皆さんが社会を見る目が、大きく変わることを私たちは確信しています。

授業では

日本史学専修の授業には二つの特色があります。第1は学年ごとに到達目標を定めた授業が充実していることです。1年次には大学での研究の基礎をゼミ形式で学ぶ授業を提供しています。2年次には3年生と混成チームで史料を使ったレポート作成に挑み、日本史研究の基礎となる史料の扱い方を学びます。3年次には4年生の卒業論文作成ゼミに参加し、自分が取り組むべき問題を絞り込んでいきます。これらの授業を通じて、同学年・先輩・後輩とともに学ぶ姿勢が自然に身につきます。第2の特色は、大学での研究と社会の接点について考えるプログラムが充実していることです。地域の古文書を調査したり、博物館や文書館と共同して展示会の企画運営に携わったりするなど、社会との関わりを持ちながら、自分の研究を進めることができます。



最近の卒業論文から

「八世紀における東大寺の荘園経営と地域社会」「八世紀における郡司層の中央出仕をめぐる」「院政期における貴族の人事と家格秩序」「中世前期における多武峰・鎌足木像破裂の政治史的考察」「享保江戸における出版統制体制の確立」「在郷町池田における町政機構の改革」「明治中期における地方私立中学校論－篠山鳳鳴義塾を事例として－」「初期社会主義における農村社会論－農村問題をめぐる議論の展開過程－」

卒業後は

学部の卒業生の進路は、就職と大学院進学大きく二つに分かれます。就職先は一般企業（金融関係、メーカー、マスコミ関係、教育関係など）や公務員など、他の学部と極端な差はありません。中学校・高等学校の教員や博物館学芸員、文書館に勤務するアーキビストなどの専門職を志望する学生の多くは、大学院博士課程前期課程に進学します。前期課程を終えて、一般企業に就職するケースも少なくありませんが、さらに専門性の高い職種を目指す学生は博士課程後期課程に進学します。

教員からのメッセージ

歴史上の事件の意味を知るためには、それが起こる舞台とそこで働く力学を史料の読み込みやフィールド・ワークを通じて復元していく、論理的思考と想像力が必要です。また、そうして得た自分の知見を叙述するためには、文学的な技能も求められます。そう言われるとしんどく聞こえるかもしれませんが、逆にいえば、歴史学はこれらの力を養い、私たちに与えてくれる学問だといえます。それだけではなく、歴史に問いかけ、歴史を語る自分とはいったい何者なのかを、自省的に考えることも歴史学の営みです。これらの力や営みは、現代の社会において特に必要とされる力だと思います。一緒に知性をフル稼働させてみませんか。



(市澤哲)

卒業生からのメッセージ

日本史学専修では、たくさんの問いかけをしていただきました。「本当にそう言えるのか」「なぜそうなるのか」。当時はなかなか答えを見出せずに頭を抱えていましたが、それらの問いかけは、教員として働くいま、私を支えてくれているように感じます。歴史をはじめとする人文学は、科学技術のようにすぐに私たちの暮らしに役立つわけではありませんが、人間が豊かに生きていく上でとても大切なことを、私たちに教えてくれると思います。それは、一度立ち止まって物事の本質を問うということです。問いかけを大切にすると日本史専修での学びを通して、歴史学のおもしろさを体験するとともに、人生の豊かさについて考えてみてください。

(岡崎慶子 2015年3月卒業 静岡県立浜松工業高校教諭)



東洋史学専修

今後ますます重要になる東アジア世界とイスラーム世界の歴史と文化について考える。

ヨーロッパを除いたユーラシア大陸の全域が東洋史学の研究対象とする地域です。そこには古来、複数の文明と宗教、多数の民族と言語が存在してきました。当専修では、二つの主軸を設定して教育カリキュラムを組んでいます。一つは、ほぼユーラシア大陸をおおうイスラーム世界であり、いま一つは我が国の歴史とも密接な関係をもつ東アジア世界です。

学生諸君はアジア全体への視野と基礎知識を養いつつ、自らの対象領域を選択しなくてはなりません。原語の文献史料に取り組めるレベルにまで到達するのは、決して容易なことではありませんが、じっくりと腰を落ち着けて勉強するのが好きな人には、逆に向いているとも言えるでしょう。そして、ユーラシアの歴史に対する理解がすすめば、一見身近に感じられる「アジア」「東洋」が私たちの「常識」とは違う「常識」を持つ世界であり、その「常識」も実に様々であることがわかってくるでしょう。東洋史を学んだあとに見えてくるアジアは、きっと今の皆さんの持っているアジア・イメージとは別のものになるはずです。

授業では

カリキュラム・授業内容の特色としては、中国語（古典中国語〔漢文〕と現代中国語両方を含む）、アラビア語、ペルシア語、トルコ語など、自らの興味ある分野に関する語学面での訓練を重視し、それらの言語で書かれた原史料、原書を使いこなせる学生の育成につとめている点があげられます。授業は、西アジア史、南アジア史、中国各時代史が中心ですが、そのほかの領域についても、専門知識を有する非常勤講師に担当してもらうことによって、ほぼトータルな東洋史知識が得られるように構成されています。最近の授業科目からいくつかをあげると以下のようなものがあります。

「1793年のマカートニー使節団の研究」、「中国王朝の人材登用と社会変動」、「南アジア・イスラーム社会史研究の諸問題」、「アラビア語辞書編纂史」、「資治通鑑」講読」、「マクリージー『道の書』」。

最近の卒業論文から

「20世紀前半中国における従軍女性」「朝鮮王朝時代の医女に関する一考察」「13世紀後半におけるルーム・セルジューク朝スルタンの支配の正統性」「アブデュルハミト二世期（1876－1908年）におけるミュルキエ校」「18世紀－19世紀前半におけるオスマン帝国の遣欧使節」「9－11世紀のシースターンにおけるアイヤール」「唐代前半期西州における馬匹管理」「宗教と科学のあいだ：非基督教運動から科学と人生観論争へ」「北魏末における閼隴地域の反乱」「台湾民主化における『美麗島事件』、ムスリム女性Bibi Khānum Astarābādiの著作*Ma'āyib al-Rijāl*からみる近代イランの女性論

卒業後は

卒業後、大学院に進学してさらに研究を続ける者の他は、就職を選んでいます。就職先は民間企業、公務員、中高教員など多岐にわたっています。

Message

教員からのメッセージ

東洋史学は主にアジア、アフリカの歴史を研究する学問です。この地域では、民族、宗教、言語などを異にするさまざまな人びとがそれぞれの歴史を織りなしてきました。あまりにも多様なため、十分に研究されていないことがらもたくさん残っていますし、そのことゆえに生じる偏見や誤解もいまだに少なくありません。けれども、よく分からないものごとこそ、これから分かる可能性がたくさん秘められています。そんな好奇心にあふれる人たちが東洋史学に加わってくれることを期待しています。

（真下裕之）



卒業生からのメッセージ

私は昔から三国志が好きで、専門的に学んでみたいと神大文学部に入学し、東洋史学専修に入りました。そこで感じた東洋史学専修の魅力を、2つ紹介します。1つは、自分が興味のある分野を研究できる楽しさです。研究したいことがまだ定かでなくても、少人数教育体制で、先生方が懇切丁寧にサポートして下さります。もう1つは、多様な言語との出会いです。私も中国語や西アジアの言語等、多くの言語に触れられました。身につけた自らの力で史料を読むことは、他では得難い経験です。

貴方も東洋史学専修で、自ら歴史を紐解いてみませんか？
（大内望 2017年3月卒業 大阪府高校・高等部教員（地理歴史科・世界史））



西洋史学専修

広い世界・遠い世界を、多様なアプローチで再構成することが可能な、間口の広い学問です。

西洋史学が研究対象とする西洋社会が19世紀に生み出した文化は、世界の多くの地域に影響を与えました。日本も例外ではなく、明治以来西洋社会は学ぶべき対象とされ、その西洋社会の歴史学を学ぶ西洋史学には特別な地位が与えられていました。しかし今日一つの価値基準に合わせて世界が動かされる時代ではなくなっています。従って旧来の「西洋史学」は没落したわけですが、しかしそこから西洋史学の再生も始まります。「モデル」を対象とした西洋史研究では見えてこなかった様々な事象が、世界史の中でよみがえります。時代の先端に立って、ともに西洋史学を切り開いていきませんか。

神戸大学文学部の西洋史学は専任教員が4名で、古代から現代までの時代をカヴァーしています。教員はフランス、イタリア、ギリシア、ソ連・東欧といった地域を中心に研究していますが、卒業論文研究はイギリス、アメリカはもちろん、欧米とアジアの関係なども含め、自分の関心に即して自由に選べます。例年、非常勤の先生にもお越しいた頂き、幅広い内容の授業を提供しています。

授業では

西洋史の授業は、基本的に4年間の学習で卒論の作成が可能となるよう、有機的に組み合わせられています。1年次には史学入門や人文学基礎（西洋史）に参加して、大学で西洋史を学ぶための問題意識を育てます。2年次から洋書講読（英・仏・独）の演習に参加し、研究に必要な基礎学力を身につけます。特殊講義はそれぞれの教員が最先端の研究について講義するもので、現段階での研究の到達点を知ることができます。専任教員がカヴァーできない分野は非常勤の先生の応援で補っています。研究テーマが絞られてくる3年次からは卒論作成のための演習に参加し、大学院生のアドヴァイスや教員の研究指導を受けつつ研究を進めて、4年次で卒業論文を完成させることになります。



最近の卒業論文から

「古典期ギリシアにおける神話とジェンダー—エフェソスのアマゾン神話を中心に」「スパルタの外交政策と神話の関係性」「中世ブルターニュのキリスト教と民衆信仰—9世紀から13世紀の聖人伝を通して—」「中近世アルプス地域における商業・交通—ベルニナ峠の事例から—」「18世紀末から19世紀初頭のバリにおける服飾品小売」「19世紀末から20世紀前半のイギリスにおけるチョコレート消費」「19世紀イギリスのインド植民地：インド高等文官を中心に」「20世紀転換期アメリカの映画産業と移民の流入—エジソン・トラストが残したもの—」「ソ連の作曲家D.ショスタコーヴィチの実像—政治権力と作品解釈の観点から—」

卒業後は

西洋史学の授業は狭い意味での職業教育ではなく、広い教養と歴史的なものの見方を身につけ健全な判断力を持つ市民の育成を目指しています。したがって卒業後の進路も多様で、民間企業、公務員、教師などさまざまな職種がありますが、中には海外で活躍するチャンスのある職業を選ぶ人もいます。大学院進学者は2～3名で、少なくともその半数は博士前期課程修了後に公務員、民間企業などに就職していきます。

教員からのメッセージ

西洋史は西洋という「他者」の歴史を古代から現代まで研究する学問です。そこには「他者」の歴史ゆえの難しさは当然ありますが、現在の日本から「距離」がある分、それだけ思考の地平を広げてくれる分野といえるでしょう。また、今現在の欧米世界を理解するためにも過去へのまなざしは重要です。先人の研究蓄積を手がかりに外国語の文献・史料を読み解いて自らの見解を見いだす作業は大変ですが、それだけに達成感や喜びにも大きいものがあります。

（高田京比子）



卒業生からのメッセージ

西洋史学専修の魅力は、研究を通じて「広く、深い学び」を得られる点にあると思います。自分がこれまで訪れたことのない地域や、経験したことのない文化の歴史について学ぶことは、刺激的であり、自分の知見を驚く程広げてくれます。一方で自分が設定したテーマとじっくり向き合って研究を行う経験は、社会に出ても皆さんが様々な問題と向き合い、解決するための手立てを与えてくれると思います。あらゆる面で国際化が進む今、世界に目を向け、多くの知識を得ながら自分の考えを深めることは、きっと皆さんの人生を豊かにしてくれるはずです！
（井上俊希 2017年3月卒業 兵庫県立高校教員）



心理学専修

人間の知覚・意識・行動のメカニズムを実験により科学的に解明します。

人間の“心”と“行動”について科学的な理解をめざす研究領域です。ものを見たり聞いたり触ったときに生まれる「感覚」や「知覚」はどのように成立するのか？そして、そのことを覚えておいたり、それについて考えたりする「記憶」や「思考」という情報処理過程はどのようにしているのか？好きな人や嫌いな人に会うとなぜ特定の感情を経験するのか？ある友人は信頼できるのに、別の知り合いのことは信頼できないのはなぜなのか？等々、心理学専修で実証的に扱う問いはもっとたくさんあります。このような問題に対して、実験という手法で挑むのですが、一口に実験といっても、実は多様な“答え”を出すことができます。たとえば、ある心理現象に脳がどのように関わっているのかを調べることもできるでしょう。どのような場合に特定の感覚や行動が生じやすいのかを調べることで、そのような感覚・行動を引き出す要因を明らかにすることもできるでしょう。また、そもそもそのような行動がなぜ人間に備わっているのかを考えることもできるでしょう。私たち心理学専修の教員と学生は、人間の“心”と“行動”を深く理解することを目指して実証的な研究を行っています。

授業では

実証的な研究スキルを養うため、実習に力を入れています。「心理学初級実験実習Ⅰ」では、1単元につき1～2週間のペースで心理学の幅広い分野における基本的な実験を行ないます。そして、各単元について、実験の目的・方法・結果・考察という構成のレポートを提出します。このレポートは、心理学専修の卒業論文作成への練習にもなります。さらに「心理学初級実験実習Ⅱ」では学生本人がテーマを選び、1学期につき2つ程度の実証的研究を行います。また、データ分析に欠かせない心理統計と分析ソフトウェアの使い方を学習します。これら実習科目の基盤となる知識を得るため、各教員の専門領域を中心とした講義や演習を毎学期開講しています。



最近の卒業論文から

「骨導音を用いた聴覚実験」「歩きスマホ時の間隙通過」「視覚刺激に対する審美・情動評定に関わる認知メカニズム」「脳刺激による嘘つき能力の影響」「友人同士・恋人同士の絆の確認と嫌悪感の関係」

卒業後は

就職先の職種としては情報関連、流通、出版、および公務員等が一般的です。大学院に進学する人も少なくありません。心理学専修の内部で進学する人たちは、修士課程2年間で自分の研究をさらに深めて一般企業や公務員として社会へ出る人と、博士課程に進み研究者への道を歩む人がいます。文学部心理学専修では公認心理師の資格取得はサポートしていませんのでご注意ください。

Message

教員からのメッセージ

文学部の心理学専修のキーワードは「実験」です。数値や統計を用いた科学的アプローチにより、人間の心の働きを調べています。表面的な言語報告だけでなく、脳からの神経活動を測ったり、視線の動きを追跡したりすることで、「心のホンネ」に近い部分を調べることもあります。興味を持たれた方、私たちと一緒に心を科学的に研究してみませんか？



（野口泰基）

卒業生からのメッセージ

心理学を勉強していました」と言うのと「人の心が読めるの?」と言われます。実際の心理学では、残念ながら心を読むことも操ることもできませんが、人の脳やそこに宿る心の根源的な部分を学ぶことができます。私たちはどうやって五感を使って外の世界を知覚しているのか。また社会の中で、他者の存在や行動が自分にどのように影響しているのか。論文を読み解いたり実験を行ったりしながら、それらを幅広く学べる専修です。実験や調査といった研究手法は文学部の中では少し特殊かもしれませんが、その分魅力的で達成感があります。

（山内一輝 2020年3月卒業 （株）山崎製パン勤務）



象は鼻が長い？

言語学専修

「ことばのない世界を想像できますか？－言語学－

普通の人間であれば誰でも4歳ぐらいまでには少なくとも一つの言葉をほぼ完全に母語として習得します。しかし、大きくなってからの外国語の習得は困難です。また、自転車に乗ったり、道具を駆使できるチンパンジーなどでも、人間言語を習得できません。これは一体どうしてなのか、という素朴な疑問が現在の言語学の中心的課題です。この謎を解くためには、世界の言語に共通する特性、また個々の言語を特徴づける相違点などを研究したり、さらには言葉の社会的変容（方言）や歴史の変遷などあらゆる角度からの文法研究や、幼児の言語習得の実体やその背景となる人類の認知システムの研究などを進めなければなりません。

その一方で、言語の研究は人工言語（コンピュータ言語）や音声認識・自動翻訳機の開発をはじめとする自然科学・工学領域、ならびに言語障害の治療をはじめとする音声言語医学の分野とも深く結びついていて、また、広告・マスコミの分野においても言語の本質の理解は不可欠なものとなっています。

知識システム講座に所属する言語学専修は、日本語研究から英語学など個別の言語研究とともに、音韻論、文法論、意味論、を含む幅広い研究分野をカバーする教育・研究体制をとっていて、カリキュラムの充実を誇っています。

授業では

言語学専修の特色は、まず教育・研究体制のバランスにあります。言語学専修では授業を系統的に受講するようになっています。言語学の全体像を知ってもらうため、1年次には入門、次いで2年次での専修配置後には、音声学、音韻論、形態論、統語論、意味論、語用論の各論に関する講義・演習を受講していきます。歴史言語学、心理言語学、社会言語学、自然言語処理演習、言語類型論、語用論などの諸分野に関する授業も集中講義などの形で受講できます。留学生も多くて、いろいろな言語のバックグラウンドを持つ学生たちと共に勉強できるのも、言語学専修の魅力の一つです。



最近の卒業論文から

「英語の動詞の多様性と構文の研究」「ケド節による言いさし文の語用論的考察」「Primary content /secondary content再考」「日本語談話表現におけるアイロニーとネガティブ度との関連性」「複合語短縮の音韻・形態構造」「格助詞カラの早期実現用法」「大阪方言の存在表現「イテル」について」「マンガにおける音描写の日英比較」「擬音語における長音の表記について」「ロシア語から日本語への借用語における音韻変換について」「日英語における類義語の対照実験調査－「机」類を表す名詞を通して－」

卒業後は

言語学は1996年4月に文学科（旧）の一つの専攻課程として設立されました。2000年3月に第1期の卒業生を送り出しました。教職に就く道、大学院への進学、マスコミやコンピュータ・IT関連の企業への就職と、言語を駆使する広領域での活躍の可能性があります。

教員からのメッセージ

歴史や文学などとは異なり、言語学は中学や高校で学ぶ科目の中には入っていませんが、ことばは私たちの身近なところに存在していますし、「ことば=人間」と言ってよいほど、ことばは、私たち人間の特徴を物語るものです。私たちは子供の時からことばを使って生活していますが、私たちがことばについて知っていることはごくわずかにすぎません。言語学は、ことばに対する素朴な疑問を出発点とし、ことばの法則性を見つけ出し、ことばの不思議さと面白さを探究していく学問分野です。



（岸本秀樹）

卒業生からのメッセージ

言語学は言語を科学的に研究する学問です。例えば、皆さんは友達とお互いの方言を紹介し合ったり、似た意味を持つ2つの言葉のうちどちらがより伝えたいニュアンスに近いかを考えたりしませんか？実はこれらは言語学の一部で、こういった何気ないことをきっかけに「言語」について突き詰め、その仕組みを解き明かすことを目標にします。自分の興味や疑問について考え追究するのは大変ですが、やりがいがあります。ぜひ言語学の扉を叩いてみてください。

（桐原爽佳 2019年3月卒業 （株）ジャステック勤務）



芸術学専修

「好き」にこだわる感性と、「好き」をクールに分析する知性。

造形芸術、音楽、演劇、写真、映画など、「芸術」は、人類の生み出した最も偉大な精華のひとつとして、汲み尽くせない意味をもって私たちに語りかけています。この語りかけに学問的に応えること、それが、芸術学専修の目指していることです。

古今東西、多様なしかたで現れる芸術の研究方法には、次のふたつがあります。ひとつは、芸術一般を原理的、理論的に考察すること、もうひとつは個別の芸術ジャンルを具体的に分析、研究することです。前者では、芸術創造のメカニズム、芸術体験の構造、想像力の問題、また芸術ばかりでなく自然美や身近な美しいものに触れたときの美的経験、共通感覚など、論理や数値では説明しがたい興味深いテーマも扱います。また、後者の個別芸術の研究では、造形芸術（建築・デザイン論、現代アート論）、映像芸術（写真論、映画論、メディア・アート論）、上演芸術（演劇・舞踊・パフォーマンス論、クラシック／ポピュラーを含む音楽論）などが主な対象となります。とはいえ、このようなふたつの研究方法には共通点があります。それは、美的経験にダイブする感性と、好きや趣味への耽溺からあえて身を引き離し、冷静に分析しようとする知性です。

授業では

講義、演習、卒論演習から構成されています。講義は、さまざまな美学思想や芸術理論を概観し、諸芸術をめぐる具体的なトピックを取りあげて多角的に考察していきます。スタッフは少ないですが、諸分野からの非常勤講師（例えば現代舞踊、マンガ研究など）によって、広い芸術領域をカバーしています。演習では、芸術理論に関わる基礎文献の読解と、個々の作品分析に力点を置きます。ここでは学生が主体的に参加し、資料の扱い方、作品へのアプローチ法などを修得します。卒論演習では、卒論作成の準備として主に3、4回生が発表を行い、全員でディスカッションします。1、2回生もテーマの選び方や発表方法などを学ぶ意味で積極的に参加してもらいたいと考えています。



最近の卒業論文から

「マラルメのパレエ論」「ロシア・アヴァンギャルドのポスター」「セルluck CGにおける動きの表現」「廃墟ブームにみられる廃墟観の変容」「日本のミニチュアー江戸小物細工にみる縮小の日本文化ー」「アトラクション、映画、ツアーへイルズ・ツアーと現代の受容経験」「歌集という世界ー穂村弘『手紙魔まみ、夏の引越し(ウサギ連れ)ー』を通して」「道化とジェンダー」「相米慎二『台風クラブ』研究ー『台風クラブ』を支配する不穏なもの正体についてー」「『百合』の漫画表現学的分析」「ピピロツィ・リストのビデオ・インスタレーション研究ー世界に色を取り戻すビデオアーティストー」「アニメーションとテクノロジーー『トイ・ストーリー』作品分析ー」「シンディ・シャーマンの写真作品におけるおどろき」

卒業後は

民間企業（新聞、出版、広告、商社、運輸、金融、建築、製造などの各業種）に就職する者のほか、公務員になる者、また芸術への感性を生かしてマスコミ、都市計画、デザイン関係で活躍する者、大学院に進学して研究を続ける学生など、さまざまです。なお、困難な道ではありますが映像作家や脚本家へと進んだケースもあります。映画監督などの実作活動へと進んだ者、海外でフリーのライターやジャーナリストとして活躍している者もいます。

Message

教員からのメッセージ

デザインされた建築やモノ、芸術作品や映像配信が絶え間なく語りかけてくる現代の生活において、感性の領分はますます重要性を増しています。芸術学は、各ジャンルの作家や作品を分析するだけでなく、さまざまな感性の仕組みや、それが生まれた歴史的経緯、それを触発する具体的な環境を対象とする学問です。多様な文献を読み解く語学力を鍛える必要はありますが、自ら研究計画を立てることのできる人にとっては、芸術学の勉強は人間の創造性や文化の源を探るこの上なく魅力的な旅となるでしょう。

（大橋完太郎）



卒業生からのメッセージ

卒業論文では、メディアテクノロジーを利用したライブパフォーマンスについて研究しました。劇場で数多くの作品に携わる今、ライブパフォーマンスのあり方が更に変貌を遂げていくのを目の当たりにしています。まるで毎日がこの研究の延長のようで、探究心は尽きません。「芸術学」は、自分の好奇心を舵取りに、様々な知識の海へ自由に漕ぎ出せる、最高にスリリングで楽しい学問です。きっとあなたにしかできない、航海が待ち受けているはずです。

（桐井環 2011年3月卒業 梅田芸術劇場勤務）



社会学専修

社会学ー自分のなかに社会があり、社会のなかに自分があることを発見するために。

社会学 sociology とは、社会 society の、学 -logy です、ということになりますが、それではピンと来ないかもしれません。家族社会学、都市社会学、犯罪社会学、文化社会学、遊びの社会学、スポーツの社会学、性の社会学などと並べてみるとかえってイメージが湧いてきます。社会にあるさまざまな集団（家族、村落、企業、都市、クラブ）、社会のなかで行われるいろいろな行為（犯罪、遊び、スポーツ、演技）、現代社会に形作られる特色ある関係（性、エスニシティ、流行、マスメディア）について研究する学問なのです。それはまた、そこから表現された文化（マンガ、音楽、文学、言語、価値意識）について独特の角度からアプローチします。

それを通して見えてくるのは、人間がいかに他者との関係のなかで自己を表現しようとしているか、いかに他者の存在を理解しようとしているか、という像であり、また、強固にそびえ立っているように見える社会がいかに人間のこのような心の多様な相互作用から成り立っているかということです。

授業では

1年生の10月、社会学の教員による「人文学基礎」が始まります。それぞれが関心をもつテーマを持ち寄り、文献調査・統計データの収集・インタビュー調査などを行い、テーマを掘り下げ、自分たちの見解をまじえながら発表し、討論します。専修が決定した2年生では、社会学の本格的な知識を身につけるため、「現代社会の変動に対応する新たな社会理論」「家族と人口の比較・歴史社会学」「社会学研究の多様な調査法（戦争・震災の集合的記憶を事例に）」「移動から見る現代社会の諸様相」など、多種の特殊講義が開講されます。また、2年生の10月からは、社会調査を本格的に行う実習が開始されます。3年生の10月、卒業論文のためのゼミが始まります。各人のテーマに合わせてそれぞれの教員に数人ずつ分属し、発表と討論を行います。あとは自力で40,000字の卒業論文執筆に邁進します。なお、2005年より社会調査士資格のプログラムが本格的に始まっています。



最近の卒業論文から

「脱物質的消費観としてのミニマリズム」「大人の発達障害者を『支える』こと」「アロマンティック・アセクシャルとその生きづらさ」「モノに着目した『聖地巡礼』と文化振興」「若者の音楽消費の非音楽的側面について」「ルッキズム社会における自分の容姿との向き合い方」「信仰を引き継ぐということ」「共働き夫婦における家事分担の意味」「『団地型』ニュータウンという生活領域」

卒業後は

希望職種の花形はマスコミ・出版関係です。テレビ、新聞、出版社、広告会社への就職者は毎年います。また、仕事の実感が欲しいと食品、電機など製造業関係に行く人もいます。そのほか情報、金融、教育、流通などのサービス産業分野も多くなっています。根強い職種は公務員、教員です。大学院の博士課程前期課程を経てそれらに就職する人も増えています。博士課程後期課程に進学し研究職、専門職を目指す人も毎年います。

教員からのメッセージ

あなたはこれまで、いろいろなことを決断してきました。しかし実はそうした「決断」も「社会」によって枠づけられたものかもしれません。「社会」という、目に見えないけれど確かに存在するものによって私たちの毎日は動いています。同時にその「社会」は、私たち一人一人の個人によって作られたものであり、決して固定的なものではありません。見方を変えるだけで、思いもしないものが見えてくる。こうした体験が社会学の醍醐味です。

（白鳥義彦）



卒業生からのメッセージ

社会学を一言で言うと、何でも研究できる学問です。ふとした時に「これを調べたら面白いことがわかるかも?」と感じたことがそのまま自分の研究になるくらい自由な学問だと思います。社会学を通じて私はアプローチ方法の多さを知りました。ものの捉え方、近づき方は決して一つではないという認識は、社会学以外のところでもきっと役立つと思います。皆さんが悔いのない大学生活を送り、さらには私が学んだような考え方を身につけることを、心から願っています。

（山口ありさ 2018年3月卒業 ラディックス株式会社勤務）



美術史学専修

イメージを解説して人類の文化と歴史に迫る今もっともスリリングな学問。

美術史学とは、人類の文化遺産である美術作品を研究する学問です。美術というと、趣味や道楽のようなものと思われがちですが、鑑賞用のきれいなものだけでなく、文字資料に対する視覚資料（イメージ）全体を扱う学問です。イメージは、文字で表現されるよりはるかに豊富なメッセージをもっていて、それを読み解くことによって、過去の人たちの考えや現代の文化の隠された意味や、思わぬ真実を探り出すことができます。作品が制作されたときの政治・経済・思想・社会的文脈に加え、それが現在にいたるまでどのような意味を与えられて受容されてきたかを考えます。そこでは、美術館にある名作や世界遺産といった歴史的な文化遺産だけでなく、建築や都市空間、ポスターや落書きなどの視覚的な表現、つまりイメージすべてが対象になります。モノを見ることがとにかく好きなことが、この学問の前提となります。現在残っているモノを研究することで、つねに好奇心が刺激され、歴史が身近に感じられるでしょう。さらに、美術鑑賞が今まで以上にスリリングな体験になるだけでなく、視覚的なセンスが磨かれて、それまで何気なく見ていた日常の風景や視界にいろいろな意味を見出すことができるようになるでしょう。

授業では

日本・東洋美術史と西洋美術史に大きく分けられます。スライドやビデオを使う講義では、広い時代と地域にわたる美術史を学べるようになっています。演習では、学生が自分の関心のある美術作品や美術家について調べて発表したり、原書や資料を読んだりします。それに加えて、近隣の美術館・博物館・社寺などに出かけて、現地で学芸員や教員の説明を受けて見学する演習もあり、多くの美術作品に肌でふれることができるようになっています。また、年に一回、国内の様々な場所に見学旅行に出かけ、有志で海外に行くこともあります。こうした活動を通して、研究室は非常にアットホームな雰囲気で、つねに活気にあふれています。



最近の卒業論文から

「東寺講堂の諸像について」「金剛寺蔵《日月山水図屏風》について」「尾形光琳《紅白梅図屏風》について」「ナスカの地上絵について」「コレジヨ研究」「フェルメール研究」「アンディ・ウォーホルについて」「バンクシー研究」

卒業後は

多くの卒業生が、全国的美術館や博物館で学芸員として活躍しています。学芸員以外でも、各地の文化施設やコンサートホール、あるいは地方自治体の文化行政の仕事や、ギャラリーやオークション会社、出版社や広告代理店などのマスコミに多くの卒業生を輩出しております。また、留学生も多く、彼らは自国に帰って、いずれも大学や美術館の第一線で活躍しております。

Message

教員からのメッセージ

美術史ほど楽しい学問はありません。ただ、美術史は高校までの美術の授業（「お絵かき」）とはまったく違って、イメージを歴史的に解説するれっきとした学問です。本を読むより、とにかく「見る」ことが好きな人間には向いているといえるでしょう。この研究室は、小じんまりしていますが、和気あいあいとしていて、学生と教員、卒業生とのつながりも深く、美術史をしっかりと学ぶには最適の環境だと思います。



（宮下規久朗）

卒業生からのメッセージ

美術史学は研究対象となる分野が幅広く、実際に作品と向き合って比較分析等をするのを大切にしているので、多様な見識を得られましたし、何より美術への造詣が深いことは一生の財産になると社会人になった今確信しております。興味深い講義や研究室での集まり・行事も多く、先生も学生も皆個性的で面白い人ばかりなので、充実した大学生活を送ることができました。友人・先輩後輩・先生方に大変感謝しております。

（田中理瑠 2014年3月卒業 株式会社ケイ・オプティコム（通信））



地理学専修

「私たちはどんな世界を生きているのか？」—空間からはじまる歴史・文化・社会への新たな問い

地理学とは、人間社会の基盤ともいえる「空間」を対象とする学問です。人間は土地と関係しながら生を営む生き物であり、社会はその舞台である空間を抜きにしては成り立ちません。ですから「空間」という視点からの問いは、人間の歴史や文化、社会や経済を根本から考えることにつながります。学問分野としての地理学には長い歴史がありますが、グローバル化する現代社会のなかでその視点はますます重要なものとなっており、哲学や社会学、心理学や建築学といった分野との対話と交流が世界的に広がっています。

さまざまな土地を足で歩き、自分自身の目で風景や景観を観察し、そこに生きる人びとの声に耳を傾けるフィールドワークは、もっとも基本的な地理学の姿勢といえましょう。そこから自分なりの「問い」を生み出し、地図や文献や統計などの資料を読み解いたり、理論的な視点を磨いたり、試行錯誤していくことが地理学の営みとなります。そうした営みを経ることで、現代世界を新しい視点で読み解くことができるようになるでしょうし、また、積み重ねた試行錯誤の経験は、これからの社会を歩んでいくうえでかけがえのない財産となるでしょう。

授業では

講義では、専任教員による「地理学概論」、「歴史地理学」、「地域環境学」、「人文地理学」などのほか、非常勤講師により「自然地理学」、「地誌」など、多彩な科目が開講されています。また3年生前期からは専修学生のみによる少人数の演習が必修となり、1年4回の発表で鍛えられていきます。発表では事前に要旨を配布し、また仲間の発表に対しても活発な発言が求められます。演習の集大成である卒業論文のテーマは、学生の意志が尊重されますが、まずフィールドや史資料に没入し、その上でオリジナルな視点を追究することが卒業論文の最終目標です。

また2年生の必修である実習は、夏季の現地調査を頂点に展開され、この数年は筑豊、北九州、広島などで、各自がそれぞれのテーマを設定して調査を行っています。



教員の紹介

原口 剛 准教授

フィールドワーク研究では、寄せ場として知られる大阪の釜ヶ崎や、港湾の戦後史、野宿者のコミュニティなどをフィールドとする研究を重ねてきました。また、理論研究の面では、ジェントリフィケーションやロジスティクスといった現代的事象の把握を試みてきました。これらの視点から、都市社会を総合的に捉え、批判的に記述することを目指しています。

（菊地 真准教授）担当は文学部文化財学講座。学芸員資格のための博物館学や文化財、景観について講義を分担し、大学博物館で研究成果を展示、発信しています。

最近の卒業論文から

「姫路モノレールに対する場所イメージの変遷」「元町高架下商店街におけるグラフィティ —「明るさ」と「暗さ」に着目して—」「福祉サービスの利用と地域的公正」「路上における宣伝活動を通しての都市空間の経験—大阪・ちんどん通信社を事例に—」「ネットワークからみたボランティア団体に関する地理学的考察」「鉄道会社の郊外開発による遊興空間の創出と地域の変容」「江戸時代の船乗りたちの認知距離」

卒業後は

過去の卒業生の進路は、大学院修士課程・博士課程前期課程進学（京都大学文学研究科、神戸大学人文学研究科）、教員（兵庫県、大阪市、京都府、奈良県、私立洛南高校など）、公務員（労働基準局、大阪府、岡山県、岡山市、京都市、西宮市、大垣市、香川県）および企業（川崎重工、毎日放送、能勢電鉄、ゼンリン、日興コーディアル証券、NTTドコモ、エヌエス、富士通テン、NTTコミュニケーションズ、日本コロムビア、日本鉄道建設公団など）と多彩です。

教員からのメッセージ

地理学とは、単純に言えば、地域／景観／場所を調査する学問です。そのため地図や統計などからの情報収集はもちろん、実際に調査地を歩き、現地の人々と折衝することで、五感を通じて身体的にそれらを理解していくことが重要となります。地理学専修では、フィールドワークや実習で各地を回ります。参加者が各自事前に準備をして発表し、現地調査を行うのです。そうして徐々にスキルアップし、一端のフィールドワーカーへと成長していきます。



（原口剛）

卒業生からのメッセージ

普段何気なく見ている町の風景、世界のニュース、心の中で密かに気になっているトピックなどなど…足元から世界の果てまで、人々の生活には地理学が深く関わっています。

それゆえ、卒業後も地理学教室で学んだ内容を思い出す機会が多くあり、またその度に、研究室やフィールドワーク先で先生方・先輩後輩同期達と過ごした、とても楽しく充実した日々が思い出されます。

一見、関わりのなさそうな事柄でも、地理学の視点を通して見てみると、きっと新しい発見があるはずです。「文学部で地理学?」と不思議に思われた方こそ、地理学教室の扉をノックしてみてもいいかもしれません。

（上田咲季 2018年3月卒業 大阪府庁）

神戸オックスフォード日本学プログラム



神戸オックスフォード日本学プログラム(KOJSP)は、オックスフォード大学アジア中東学部(旧東洋学部)日本学専攻の2年次生全員が、一年間神戸大学文学部で学ぶプログラムです。現在は、令和5年10月から受け入れた12期生8名が午前日本語の集中コースで、午後は文学部開講の専門科目を履修し、学んでいます。そして、グローバル・アクティブ・ラーニングAという授業では、広島へ行き、広島平和記念資料館を見学したり被爆者の語りを聞いたりした上で、広島の方々とディスカッションを行い、平和についての理解を深めます。KOJSP演習では、アカデミック日本語を学びながら、修了論文を作成していきます。8月上旬には、これからの学びの成果を披露する修了発表会が予定されています。

授業外でも、淡路島へのツアー、ホームステイ、能楽体験、インターンシップなどの活動を通して、日本のさまざまな面について広く学んでいます。その他、文学部・人文学研究科の他の学生との交流のきっかけを提供しているほか、神戸大学附属中等教育学校やブリティッシュ・カウンシルとの交流会など、学外にもアカデミックな交流の場を広げています。

本プログラムと関連する形で始まった活動として、オックスフォード大学ハートフォード・カレッジでの夏季プログラムがあります。これには毎年10数名の神戸大学学生が参加し、英語や英国文化を学んでだけでなく、オックスフォード生をはじめとする外国人学生との交流の輪をさらに広げています。このように神戸オックスフォード日本学プログラムは、文学部・人文学研究科における国際交流の大きな原動力となっています。

オックスフォード夏季プログラム

オックスフォード大学(University of Oxford)のハートフォード・カレッジ(Hertford College)での約3週間の夏季プログラムです。英国歴史・文化・社会・文学などのトピックに基づいた英語学習を行います。プログラム期間中、参加者はキャンパス内の寮に宿泊し、オックスフォード大学生のRA(Residential Advisor、寮生活アドバイザー)による学習・生活のサポートがあります。授業後や休日にはRAが企画する課外活動などに参加し、異文化交流を楽しむことができます。



オックスフォード大学ハートフォードカレッジ



enjoy!

教員のプロフィール

国際交流イベントの運営や 日本社会文化論の講義等を担当

専門は第二言語習得、日本語教育学。主に、ライティング・フィードバック活動を実践している。学習者意識や取り組み方を研究することで、効果的なフィードバックを探り、指導に役立てたいと考えている。

岡野 靖子先生



KOJSPでの論文演習、 日本社会文化論の講義等を担当

専門は日本語教育で、日本語教師の学びとは?教師の学びをいかに支援するのか?について研究を行っています。

大河内 瞳先生



※茶谷 直人先生(KOJSPアドバイザー・ボード長)の紹介は5ページへ

国際交流・留学について

グローバル化の時代といわれる今日、神戸大学文学部でもさまざまなレベルで国際交流が行われています。多彩な外国語・外国文学の講義はもちろん、最近では外国からの留学生の受け入れ、学生の外国大学への留学、外国の大学との学術交流協定などに、特に力を入れています。

01 多彩な外国語・ 外国文学教育

現在文学部では、英米文学・ドイツ文学・フランス文学・中国文学・日本社会文化論で外国人の教員が講義や演習を担当していますが、そのほかにも韓国語・中国語・ドイツ語・フランス語・イタリア語・西洋古典語(古代ギリシャ語とラテン語)の語学教育が行われています。また、アラビア語・ペルシア語を用いた授業もあります。



「グローバル・アクティブ・ラーニング(広島)」研修旅行

02 留学生受け入れと 交流の状況

文学部への留学生は、大学院生あるいは大学院への入学をめざす研究生、また、オックスフォード大学をはじめとする協定校からの交換留学生が大半です。現在、19カ国・108名の留学生が文学部と大学院人文学研究科で学んでいます(2024年5月1日現在)。

さまざまな国の留学生と触れ合い異文化を理解し合うことができる教育環境は、グローバルな視野をもって研究を進める上で欠かせないものです。そうした観点から、文学部では、授業における日本人学生と留学生との議論はもちろん、留学生と日本人学生との交流が深まるように、さまざまな活動を行っています。例えば、毎月1回のインターナショナル・アワーを実施し、春には留学生と日本人学生合同の日本文化見学旅行を、冬には国際的な学術文化交流を目的としたシンポジウムと交流会を開いています。

留学体験

セオドア・ンゼ

(KOJSP第11期生)



僕は、オックスフォード大学の12人の同級生と一緒に、9月末に神戸にまいりました。自分のバイアスかもしれませんが、日本の大学の中で、神戸大学が留学生に一番いい場所だと思います。

神戸は、まず街として、すばらしいところです。交通から見ると、新幹線や世界一長い空港(関西空港)があり、最先端な街です。日帰りは、大阪はもちろん、京都、奈良、東京までも楽に行けます。神戸は「五つの国」の兵庫県の首都ですので、兵庫県だけで旅行するだけでも、絶対に退屈しません!最先端な都市でありながら、北に六甲山があり、南に美しい海岸に恵まれ、自然も豊富なので、ハイキングでも、水泳でも、日本の四季が満喫できます。間違いなく日本のまちでありながら、多彩な文化に触れられる街でもあります。明治時代から言うもの、港湾都市の立場のおかげで、移民が多くあり、その現れとして、ジャイナ教の寺院や日本最古のモスクなどがあります。バウムクーヘンや中華料理や和牛が神戸のいくつかの名物であり、世界各地の美味しい料理が食べられます。それに加えて、遠足やソサエティー等で、大学で国際的な友達を作る機会がたくさんあります。それとともに、五毛祭りや神戸祭りに参加することによって、簡単に日本人の友達も作れます。神戸はさすが関西の街であり、地元の人々がやさしいので、ご安心ください!

大学そのものも、たくさんの楽しい経験を提供しています。僕は、児童文学研究会に参加して、たくさんの素敵な人に出会えました。私の友達もバレーボール部や写真部に入り、どなたでも必ず自分に合うクラブがあります。科目に関しても、選択肢が多くあります。現在、僕はフランス文学と中国文学をしています。すべての授業が日本語で開講されています。にもかかわらず、先生方のサポートのおかげで、問題があっても説明していただけて、楽しく授業を受けています。日本語を聞くだけでなく、発表会などで日本語をアウトプットする機会もありますので、日本語の能力も必ず上達します。しかも、関西弁も毎日耳にすることができるので、地元の人々の話し方も学ぶことができます。ただし、何か迷った場合は、各学生に学生のチューターがいるし、やさしくどうすべきかを説明してくれるので、心配しなくても大丈夫です。チューターにはとても感謝しており、日本ではじめてできた友人にもなりました。

神戸大学に行く理由は言葉も多く、留学を考えている皆様に心の底からお勧めいたします。歴史、文化、自然、街の雰囲気、料理、新しい人との出会い、どんなことを求めているも、神戸で必ず見つかります。僕はすでに6ヶ月間神戸に滞在していますが、本当にあったという間でした。今後の3ヶ月も楽しみにしています。

留学体験

畠田 美宙

(ドイツ文学) 2021年3月卒業生



私は、2019年9月から半年間、ドイツのトリアー大学に交換留学生として留学しました。トリアーでは最初に1か月にわたるオリエンテーション期間があり、ドイツ語のコースと諸手続きを留学生全体で行います。学期中は、ドイツ語やドイツ文学の授業を中心に受講していました。バス遠足や言語交換など、留学生のためのイベントも充実しています。

留学中は、日本学科の生徒と言語交換を行ったり、自分の研究テーマについて専門の先生に尋ねたり、図書館で資料を読んだりしていました。ドイツ文学を専門にしていますが、実際に本場ドイツの大学で勉強して、入ってくる情報の違いを身に染みて感じました。授業ではヨーロッパ史など幅広い知識が当たり前のように話題になり、また図書館の文献も日本とは比べ物にならないほど多く、もちろんすべての知識はドイツ語で入ってきます。その一方で、神戸大学で先生が仰っていたのと同じことが現地でも取り扱われていると、遠く離れた国の文学について日本で当たり前で学べることの素晴らしいさを感じました。

留学の目的は人それぞれだと思いますが、「異文化に触れたい」「グローバル社会で活躍できる人間になりたい」というのは大きな理由になると思います。ただし、それに加えて現地で専門的な勉強ができるのは、2年生から専修に分かれる文学部での留学の強みだと思います。私にとっての挑戦だったこの留学が、良き人生経験になったことは間違いありません。

大学院への進学



変わりつつある大学院=新たに人文学研究科を設置

これまで、大学院は2年間の修士課程（文学研究科）と3年間の博士課程（文化学研究科）に分かれていましたが、2007年4月にこれらを改組して5年間一貫の大学院「人文学研究科」を設置しました。これは、現代社会における科学技術の進化とグローバル化する社会システムの大規模な転換の中で、価値規範の動揺あるいはアイデンティティの喪失といった事態への対応や、地域社会の成熟にふさわしい新たな社会規範を創成する人材が必要になってきたという認識に基づき、そのような人材を養成するために設置したものです。

人文学研究科は、従来の大学院が培ってきた人文学各学域の高次の専門性と総合性をいっそう発展させ、人文学の古典的な役割を継承しながら、現代的な課題に対応しうる人材養成のための教育研究システムを構築しています。

大学院人文学研究科には、
まず2年間の博士課程前期課程があります。

博士課程前期課程（2年間）

【入試】	
7月（特別入試）	研究計画等に関する口述試験（面接）
9月（第I期）	筆記試験（語学と専門科目） 「研究の概要」等に関する口述試験
2月（第II期）	筆記試験、卒業論文（またはそれに 準ずる論文）等に関する口述試験

- 所定の単位を修得し、研究成果を修士論文としてまとめ上げ、修了することになります。
- 学部の勉強が、人文諸学の基礎的素養と方法論をマスターすることを主眼とするのに対して、博士課程前期課程では、それらを土台にしながら、オリジナルな研究を進めることが求められます。
- 博士課程前期課程の段階で、学界から評価される研究成果を発表することが大切です。

さらに研究を進めたい場合には、
3年間の博士課程後期課程に進むことができます。

博士課程後期課程（3年間）

【入試】	
2月	筆記試験、論文（修士論文）に 基づく口述試験（面接）

- 博士課程前期課程の場合と同様に大学の中で研究するだけではなく、多くの場合はそれぞれ研究分野の学会に所属し、研究成果を論文や口頭報告などの形で発表し、研究者同士で議論する場に参加していきます。
- 修士論文よりも高い水準の研究を進めることになります。そして、研究成果を課程博士学位論文としてまとめることが目標になりますが、その研究成果は、世界で今まで誰も論じたことがなかった本当の意味でオリジナルな論文となることが求められます。

他大学・諸外国に開かれた大学院

大学院には留学生の数が多く、国際交流の機会が広がるという特色があります。神戸大学から他大学の大学院へ進学することももちろん可能です。大阪大学、奈良女子大学、神戸市外国語大学などの大学院とは単位互換の協定を結んでいて、他大学との交流も盛んに行われています。研究内容が外国にかかわっている場合には、大学院在籍中に留学するケースも増えてきています。

大学院修了後の進路

大学院修了後の進路としては、博士課程前期課程の場合、専門的知識を生かした中学・高等学校教員、高等専門学校教員、博物館・美術館学芸員などへの道が開かれています。民間企業やジャーナリズムの世界においても、専門的な知見を生かして活躍することが期待されています。博士課程後期課程の場合、大学や研究所等に研究者として勤務することが期待されますが、そのためにはよりいっそうの学問的な研鑽が求められます。

研究者への道は確かに厳しいものです。しかし、真に創造的な学問を作り出していくことに自分の人生を賭けるということは大変に魅力的なことであり、このような道もみなさんには開かれています。

就職について



令和5年度（2023年度）卒業生・修了者の進路データ

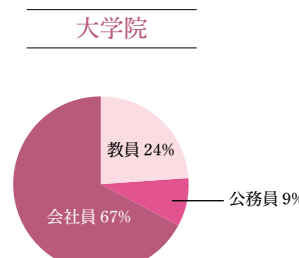
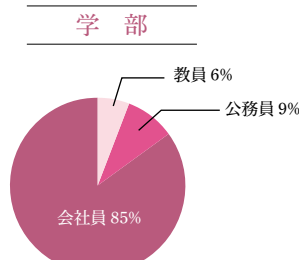
学 部	
卒業生数	104
進学者数(大学院)	13
就職者数	82
その他	9

(2024年3月時点)

大学院			
【博士課程前期課程】		【博士課程後期課程】	
修了者数	51	修了者数	8
進学者数	14	就職者数	1
就職者数	21	その他	7
その他	16		

(2024年3月時点)

就職先の割合



最近3年間（2021～2023年度）の就職先企業等。（ ）の無い場合はすべて1名。

就職先企業一覧

教員

兵庫県立高等学校教員(3) 神戸市立中学・高等学校教員 滋賀県立高等学校教員
大阪府立高等学校教員(3) 福井県立高等学校教員 奈良県立高等学校教員
富山県立高等学校教員 私立関西大倉学園教員 六甲学院中学校・高等学校教員
私立四天王寺中学校・高等学校教員

公務員

東京税関 大阪税関 四国運輸局 山梨労働局 大阪労働局(3) 神戸地方方法務局
大阪航空局 近畿地方整備局 北陸財務局 神戸地方裁判所 富山地方裁判所
兵庫県庁 和歌山県庁 静岡県庁 香川県庁 愛知県庁 富山県庁 神戸市役所(5)
大阪市役所 農林水産省 防衛省 近畿総合通信局 京都市役所 大口市役場
陸上自衛隊(事務官) 神戸地方検察庁

不動産・賃貸・管理業不動産

三井不動産リアルティ 大和ハウス工業 フジ住宅 サンエース エスリード
三菱地所レジデンス パナソニックホームズ

金融・証券・保険

三菱UFJ信託銀行 SMBC信託銀行 三井住友信託銀行 三井住友銀行 中国銀行
北海道銀行 南都銀行 京都銀行 尼崎信用金庫 京都中央信用金庫
りそなホールディングス 大和証券 だいち証券ビジネス 第一生命保険(2)
三井住友海上火災(2) オリックス 富国生命保険相互会社 野村證券

卸売業・小売業

アルペン 阪急阪神百貨店(2) ファミリーマート ニトリ ダイレックス ファイントップディ
JR西日本伊勢丹 富永貿易 阪和興業 日本アクセス 大丸松坂屋百貨店
ベイクルーズ

情報通信

アイテック阪急阪神 アイメック 日本SPセンター トレス・バインド SRIシステムズ
ALL CONNECT オープンドア NTTコミュニケーションズ(2) アルファボリス リーディ
セプテーニ ギブ・アンド・テイク システム情報 シティ・コム プレインパッド 毎日放送
ビルボ カラフルカンパニー ステップワン 交通新聞社 関電システムズ
ビジネスシステムサービス エル・ティール・エス システムリサーチ MBSラジオ 電通九州
オービック 信濃毎日新聞社 コベルコシステム 楽天グループ(2)
フジフィルムシステムサービス IMAGICAグループ ダイワボウ情報システム
中央公論新社 ランドコンピュータ アバント パナソニックネットソリューションズ
メガ・テクノロジー カプコン ダイレクト出版 ビズ シスメックスピロート
ウェルアソシエイツ 大塚商会 オプテージ メディカ出版 TIS

製造業

新明和工業(3) 伊藤ハム 住友重機械工業 サッポロビール 大王製紙 東洋紡 JT
いすゞA&S 丸大食品 三洋化成工業 積水化学工業 堀場製作所 大真空
にしむらコーヒーサービス 京都科学 モリタホールディングス 日本貿易印刷
指月電機製作所 三王機工 三菱重工業(2) 旭化成 興国インテック リンナイ
産業振興 バンドー化学 日本ICS 高桑美術印刷 神戸製鋼所 イシダ
住友電気工業 ブルボン 大阪シーリング印刷 イディー ナブテスコサービス
共英製鋼 信越化学工業 三甲 日立製作所(2)
富士フィルムビジネスイノベーションジャパン

運輸業・郵便業

阪急阪神ホールディングス 日立物流 丸全昭和運輸 大阪市高速電気軌道
日本空港ビルディング 近鉄グループホールディングス

サービス業ほか(上記以外)

社会福祉法人池田さつき会 ワークス・ジャパン 中国電力 オープンハウス・アーキテクト
コルポート 神戸市社会福祉協議会 高松コンストラクショングループ 當木工事
高齢・障害・求職者雇用支援機構 アルファボリス 川田整形外科 クイック WAVE
兵庫県国民健康保険団体連合会 四国電力 三神工業 サンリオ
中部電力パワーグリッド 日本ビジネスアート 神戸市民病院機構 ファーストーン
社会福祉法人友朋会 ヤスナ設計工房 デロイトトーマツ パーソルテンプスタッフ(2)
セノン レオクラン 東北電力 SCRAP 光響社 ウィットスタジオ
大阪府国民健康保険団体連合会 TOKAIホールディングス 兵庫六甲農業協同組合
リンクアンドモチベーション 日本芸術文化振興会 広島ガス アクセンチュア

人文科学図書館

人文科学図書館には、人文科学系の資料を中心に、和漢洋の図書が約33万冊、雑誌約3,610種類等が所蔵されています（2024年3月末現在）。また、今では入手困難な古典的文献や、18世紀の原書（*Historia critica philosophiae*）や「正倉院文書」（写真複製）等の貴重なコレクションを有しており、研究や学習に活用していただけます。

館内設備の利用

- グループで相談しながら学習できる「ラーニングコモンズ」には、約 50 席分の可動式机と椅子、プロジェクターや大型モニターなどが備わっています（予約不要）。

提供サービス

- 学内の他の図書館・室にある資料や、学外の資料も、人文科学図書館に取り寄せたり、訪問して利用したりすることができます。
- 無線 LAN 設備が整っているため、持ち込みのノートパソコンを利用することができます（アカウントが必要）。



開館時間・サービス時間・休館日

	通常期		休業期	
	平日	土曜日	平日	土曜日
開館	8:45～19:00	11:00～17:00	8:45～17:00	—
文献コピー（コイン式）	8:45～19:00	11:00～17:00	8:45～17:00	—
レファレンス	9:00～17:00	—	9:00～17:00	—
マイクロ・NDL デジタル化資料	9:00～16:45	—	9:00～16:45	—
他大学図書館利用申込	お申込みは随時受け付けします。紹介状は訪問先に問い合わせ後、発行します（受け渡しは後日）。			
本・被写物申込（他大学から）	常時アカウントサービスで受付			
本・被写物受取（他大学から）	8:45～16:45	—	8:45～16:45	—

休館日

- 日曜日・祝日 ●館内整理日（原則毎月第2火曜日の13時まで） ●夏季一斉休業日（8月12日～16日） ●年末年始（12月28日～1月4日）
- ※臨時休館する場合はWEBサイトや掲示等でお知らせします。

学内図書館

- 神戸大学には、人文科学図書館を含め9の図書館・図書室があり、学生は全ての図書館・室をそれぞれの条件で自由に利用できます。



最新情報と詳細は WEB ページをご覧ください。
<https://lib.kobe-u.ac.jp/libraries/list/jinbun/>



大学生活をめぐる



Q 奨学金の制度はどのようになっていますか？

- A 国、地方公共団体及び民間の育英奨学事業から奨学金が受けられます。このうち、国の育英奨学事業を行う独立行政法人日本学生支援機構の奨学金の種類は、下記のとおりです。
- ①給付奨学金
 - ②第一種奨学金（無利子貸与）
 - ③第二種奨学金（有利子貸与）
- 奨学金を受けるためにはさまざまな条件があり、希望者が多い場合は選考が行われることもありますので、希望する場合は掲示や配布書類をよく読んでください。

Q 入学科や授業料の免除制度はありますか？

- A 神戸大学としては、国の高等教育の修学支援新制度を利用していただきます。
- 詳細は文部科学省ホームページを参照してください。

Q 学生寮はあるのでしょうか？

- A 神戸大学には5つの学生寮（うち、男子専用寮と女子専用寮が1つずつ）があります。定員は約800名で、寄宿料は共益費と合わせて月額10,700円～24,000円程度です。

Q 下宿やアパートの紹介はしてもらえますか？

- A 神戸大学生生活協同組合などが随時紹介しています。入学前の3月には、特に新入生向けの紹介が行われます。

Q 神戸大学生生活協同組合（生協）とは何ですか？

- A 学生、教職員の出資金によって運営されている団体で、さまざまなサービスの提供を行っています。各キャンパスにはそれぞれ生協の運営する食堂があります。文学部のすぐ南にはLANS BOX店があります。また、書籍部では7～10%の割引で本を購入でき、授業に必要な教科書、参考書も取り扱っています。そのほか、文具、パソコンなどの電化製品など、学習や日常生活に必要なものも販売しています。引越しや旅行の手配もしてくれますし、プレイガイドでは各種チケットも取り扱っています。

Q アルバイトをしたいと思うのですが、紹介してもらえるのでしょうか？

- A アルバイトを希望する学生には、神戸大学がアルバイト紹介業務を委託する神戸大学生生活協同組合でアルバイトのあっせんを行っています。

Q 授業は何時から何時まで行われるのですか？

- A 1時間目の開始時刻は午前8時50分、5時間目の終了時刻は午後6時30分です。5時間目に行われる授業はあまり多くありません。

Q 授業の合間に勉強できる部屋はありますか？

- A 文学部に隣接して人文科学図書館があり、そこで本を読んだり勉強したりすることができます。インターネットの利用も可能です。また、各専修には読書室と通称されている共同研究室があり、そこで勉強したり休憩したりすることも可能です。学舎の1階には学生ラウンジ、各階には机と椅子を設置し自由に利用できる空間も設けています。

Q 教材のコピーや印刷はどうするのですか？

- A 授業で使うプリントなどは教材用の印刷機で印刷することができますが、私的な利用はできません。硬貨を投入して利用するコピー機が図書館や生協の店舗に置かれています。

Q クラス制度はあるのですか？

- A 現在、神戸大学文学部にクラス制度はありません。大学からの連絡はすべて掲示を通じて行われます。2年生以上は各専修が文学部での活動の基礎的な単位になります。

Q サークルなどの課外活動は盛んですか？

- A サークルには大きく分けて、文化系、体育系、研究会系及び応援団の四つがあります。文化系・体育系のサークルには、全国レベルで優秀な成績を挙げているものもあります。応援団は、体育系サークルの応援のほか、学園祭のステージ企画、新入生歓迎企画なども行っています。研究会系のサークルは、読書会などの地道な活動のほか、他大学の同様のサークルと討論会を行うなどの活動をしています。

Q 大学の行事といえばまず学園祭を思い浮かべますが、神戸大学ではどのようになっていますか？

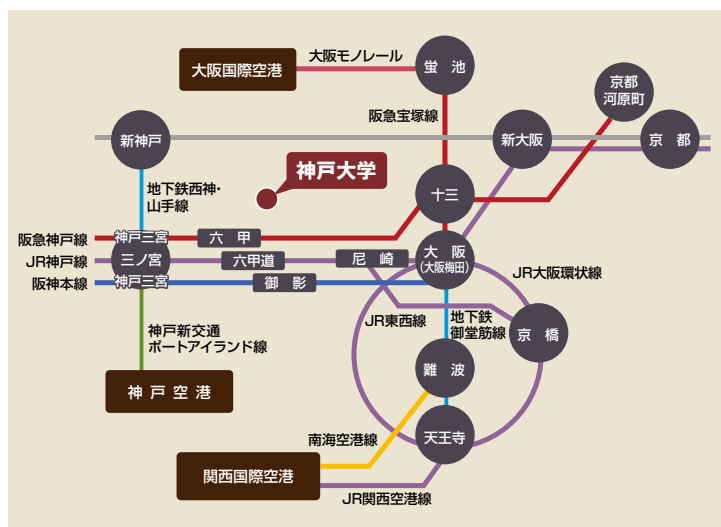
- A 全学的な規模の学園祭として、六甲台キャンパスで毎年11月に行われる「六甲祭」があり、大変にぎわいます。

Q 文学部にはどんな行事がありますか？

- A 文学部としての公式行事はありませんが、各専修やゼミ単位での懇親会や旅行などは盛んです。学生同士の、あるいは教員を囲んでのこうした催しは、大学生活ならではのものです。全学で卒業生を招いて行うホームカミングデーでは、文学部独自の催しを行っており、学生も参加しています。このほか、文学部同窓会（文窓会）主催の学生レポートコンテストや卒業記念パーティーなどもあります。



Access Map アクセスマップ



..... バス路線

最寄り駅から文学部まで

徒歩：阪急「六甲」駅から約15分

バス：神戸市バス36系統「鶴甲団地」「鶴甲2丁目止り」行き、または「鶴甲3丁目」行き乗車、
阪神「御影」駅から約25分、JR「六甲道」駅から約15分、
阪急「六甲」駅から約10分、「神大文理農学部前」下車

タクシー：阪神「御影」駅から約20分／JR「六甲道」駅から約15分／阪急「六甲」駅から約10分



神戸大学文学部

<http://www.lit.kobe-u.ac.jp/>

● 問い合わせ先

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

神戸大学文学部教務学生係

電話 078-803-5595

Email: lkyomu@lit.kobe-u.ac.jp